

【事業名】むつざわスマートウェルネスタウンにおける地元産ガス100%地産地消システム構築事業

(1) 事業概要

主な事業者	(株)CHIBAむつざわエナジー
事業地	千葉県長生郡睦沢町
施設名称	むつざわスマートウェルネスタウン
面的利用エリア面積	23,824m ²
主な再生可能エネルギー	コージェネレーション、太陽光、太陽熱
面的利用先	道の駅および住宅団地
主な導入設備	ガスコージェネ 80kW×2台、排熱利用ボイラ 756kW、太陽光パネル20kW、太陽熱温水器 37kW
事業期間（稼働予定）	2017年7月～2019年9月 (2019年9月営業開始)
省エネ効果見込	省エネルギー率21%

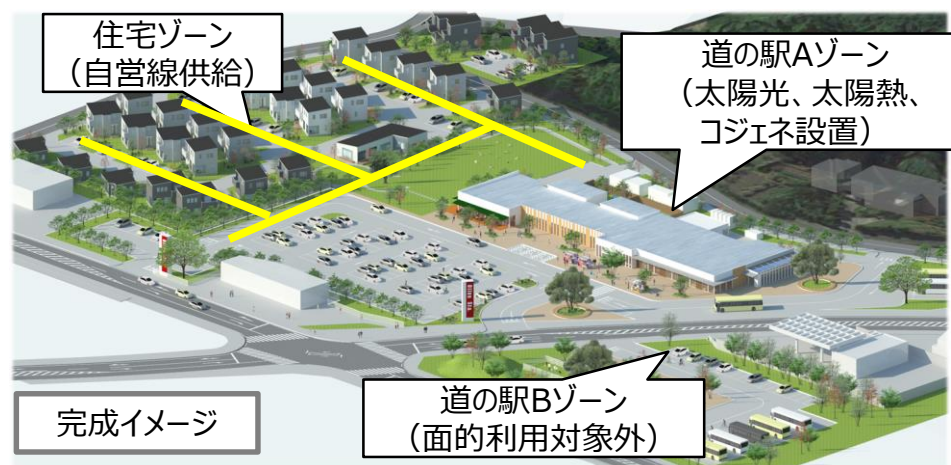
(2) 事業の特徴

- 新設される「むつざわスマートウェルネスタウン」において、**ガスコージェネ及び太陽光・太陽熱で作った電気と熱を面的に供給**
- 水溶性ガス採取後のかん水をコージェネの廃熱で加温して温浴施設で利用することで、**地元産天然ガスを無駄なく100%使い切る**
- 地域資本の新電力が熱電併給による面的供給を行う国内初の事例

(3) 導入効果

- 20%以上のCO2削減
- 非常時でも自立して防災拠点として機能
- 温浴施設の集客増効果

(4) 事業イメージ



(5) 面的利用概要

赤字：むつざわエナジーが保有・運用、黒字：睦沢町が保有・道の駅管理者が運用

